

## S I D R

(滋賀県感染症情報)  
SHIGA Infectious Diseases Report《月報》  
平成 24年 12月  
(第49 ~52週)発行年月日:平成25年(2013年)1月16日  
発 行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

## 1)全数報告の感染症(一類~五類)

全国の医療機関において、感染症法で定められている一~四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出することになっています。  
このことを全数報告といい、届出により全国または滋賀県で発生している一~四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 24年		平成 23年*		感染症 類型	疾 病 名	平成 24年		平成 23年*			
		1~11月	12月	1~12月	滋賀県	全国	滋賀県	全国	1~11月	12月	1~12月	滋賀県	全国
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	1					
	結核	240	26,563	14	2,200	338	31,467						
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0					
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0					
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0	0	0	0					
三類	コレラ	0	3	0	0	0	0	12					
	細菌性赤痢	0	201	0	12	5	299						
	腸管出血性大腸菌感染症	37	3,660	0	86	71	3,938						
	腸チフス	0	31	0	4	0	21						
	バチチフス	0	20	0	3	0	23						
四類	E型肝炎	0	107	0	9	0	61						
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0					
	A型肝炎	1	156	0	2	0	176						
	エキノコックス症	0	14	0	1	0	18						
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0					
	オウム病	0	6	0	0	0	0	13					
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0					
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0					
	キヤサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0					
	Q熱	0	0	0	0	0	0	1					
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0					
	コクシジオイデス症	0	2	0	0	0	0	2					
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0					
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0					
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0					
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0					
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0					
	チケンギニア熱 <sup>(*)</sup>	0	9	0	0	0	10						
	つぶが虫病	1	321	0	107	1	461						
	デング熱	1	210	1	10	1	112						
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0					

(\*): 感染症法の一部改正(平成23年2月1日施行)により、2月からの集計。ー:未集計

\*1 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、H24.3現在)

滋賀県における全数報告感染症の概要  
(12月)

## &lt;結核&gt;

14名 男性 8名、女性 6

類型:患者 11名

無症状病原体保有者 2名

疑似症 1名

病型:肺結核 7名

その他の結核 4名

無症状病原体保有者 2名

疑似症 1名

## &lt;ウイルス性肝炎&gt;

1名 女性 38歳

病型:B型

推定感染経路:性的接触(異性間)または針等の刺入による感染

推定感染地:日本国内または大韓民国

## &lt;デング熱&gt;

1名 女性 26歳

病型:デング熱

推定感染経路:動物・蚊・昆虫等からの感染

推定感染地域:フィリピン

## &lt;クロイツフェルト・ヤコブ病&gt;

1名 男性 78歳

推定感染経路:不明

感染地域:不明

## &lt;レジオネラ症&gt;

1名 男性 65歳

病型:肺炎型

推定感染経路:不明

推定感染地域:日本国内

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので(患者報告数／定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。

また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

### 12月の概要

#### <インフルエンザ>

先月より徐々に増加し、第52週(12/24～12/30)の定点当たり患者数は1.26となりました。

#### <小児科定点疾患>

右記グラフ(疾患別定点患者数)に示すとおり、前月より増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎および水痘等で、減少した疾患は突発性発しん、咽頭結膜熱等で、ヘルパンギーナ等は横ばいでました。

各疾患の週別発生状況は、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照。

感染性胃腸炎-----先月(患者数1579人)より急激に増加し、今月の患者数は1809人でした。

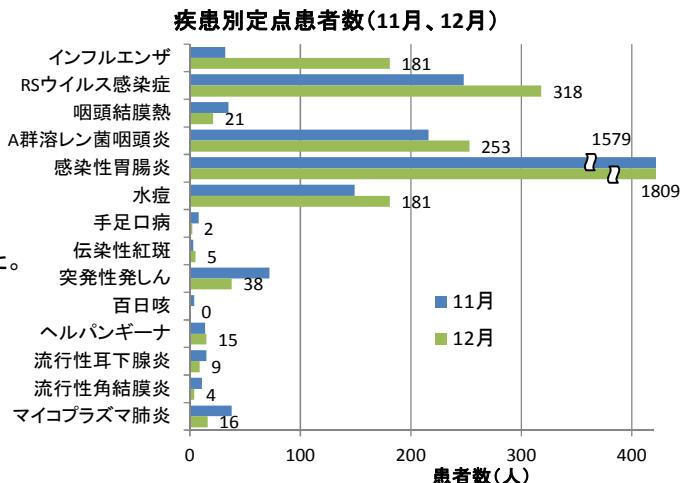
RSウイルス感染症-----先月(患者数258人)よりさらに増加し、今月の患者数は318人でした。

年齢群別発生割合は下記グラフのとおりでした。

A群溶レン菌咽頭炎---先月(患者数216人)よりわずかに増加し、昨年同時期よりやや多くなっていました。

インフルエンザ-----先月(患者数32人)より増加し、今月の患者数は181人でした。  
昨年同時期より少なくなっていました。

水痘-----先月より増加しましたが、昨年同時期より少なくなっていました。



#### <眼科定点疾患><基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少し患者数は4人でした。

急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は先月(患者数38人)より減少し、今月の患者数は16人でした。

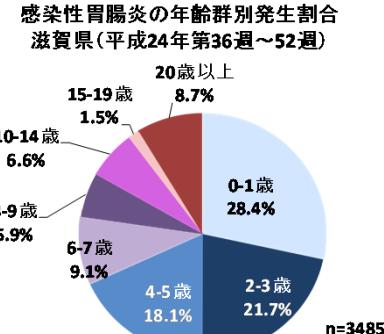
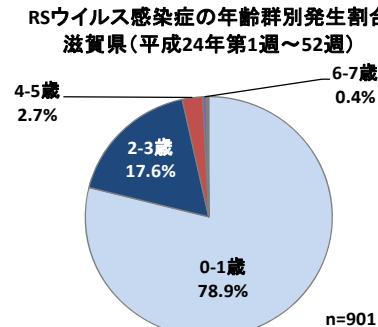
また、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

#### <インフルエンザ(入院)>

インフルエンザサーベイランスにおけるインフルエンザの入院患者の届出が1名ありました。また、全国における第49～52週の入院患者数は316人でした。

#### <疑似症定点からの報告>

疑似症定点からの報告はありませんでした。

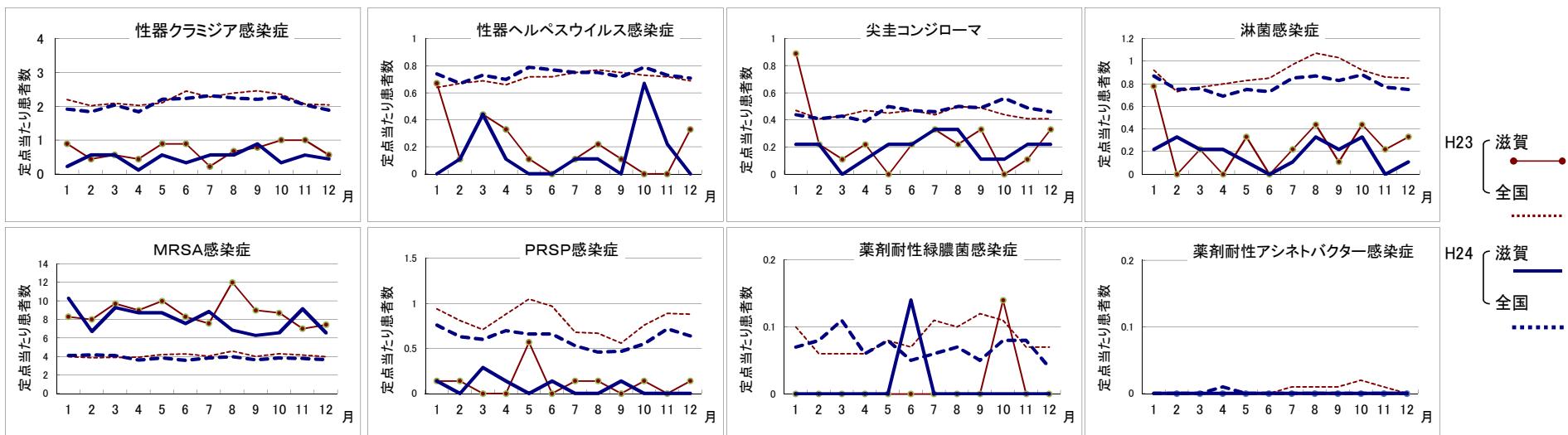


#### <各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

### 3)性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 24年12月)

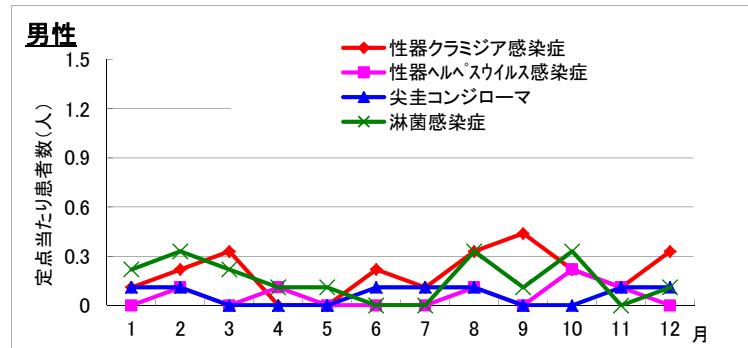
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	報告数	2	5	5	1	5	3	5	5	8	3	5	4	51
	定点当たり患者数	0.22	0.56	0.56	0.11	0.56	0.33	0.56	0.56	0.89	0.33	0.56	0.44	5.68
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	0	1	4	1	0	0	1	1	0	6	2	0	16
	定点当たり患者数	0	0.11	0.44	0.11	0	0	0.11	0.11	0	0.67	0.22	0	1.77
尖圭コンジローマ	報告数	2	2	0	1	2	2	3	3	1	1	2	2	21
	定点当たり患者数	0.22	0.22	0	0.11	0.22	0.22	0.33	0.33	0.11	0.11	0.22	0.22	2.31
淋菌感染症	報告数	2	3	2	2	1	0	1	3	2	3	0	1	20
	定点当たり患者数	0.22	0.33	0.22	0.22	0.11	0	0.11	0.33	0.22	0.33	0	0.11	2.20
メチシリン耐性	報告数	72	47	65	61	61	53	62	48	44	46	64	46	669
黄色ブドウ球菌感染症	定点当たり患者数	10.29	6.71	9.29	8.71	8.71	7.57	8.86	6.86	6.29	6.57	9.14	6.57	95.57
ペニシリン耐性	報告数	1	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	6
肺炎球菌感染症	定点当たり患者数	0.14	0	0.29	0.14	0	0.14	0	0	0.14	0	0	0	0.85
薬剤耐性	報告数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
緑膿菌感染症	定点当たり患者数	0	0	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0	0	0.14
薬剤耐性	報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アシнетバクター感染症	定点当たり患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



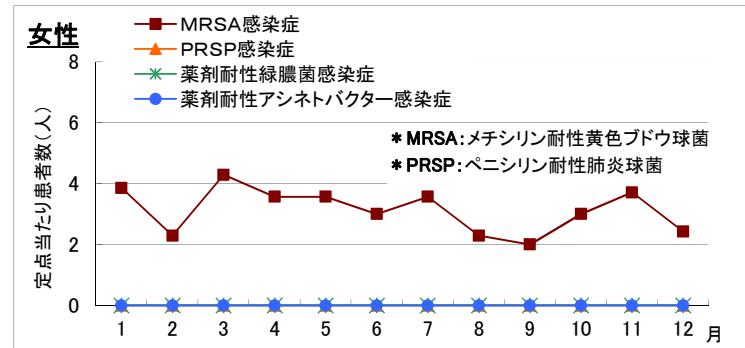
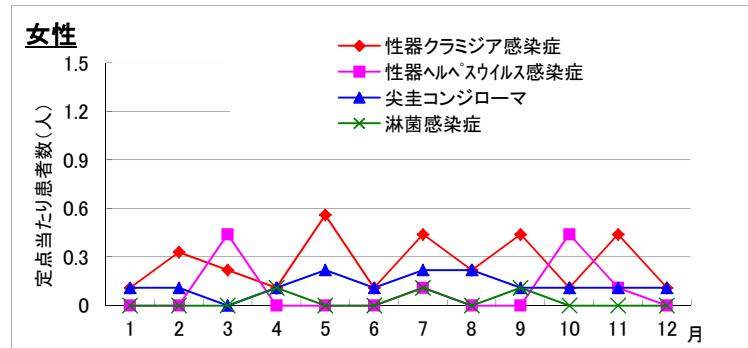
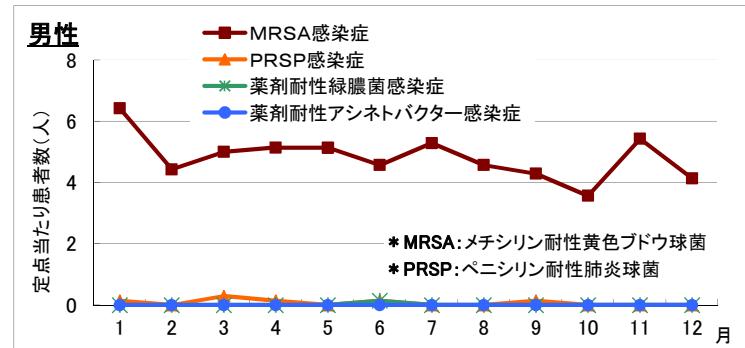
滋賀県における発生状況は上記に示すとおりです。先月と比較すると、増加した疾患は、淋菌感染症で減少した疾患は性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症およびMRSA感染症でした。尖圭コンジローマは横ばいでした。また、PRSP感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症および薬剤耐性アシネットバクター感染症については、先月と同様、報告はありませんでした。

MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

## 性感染症定点における疾患別発生状況 (H24.12)



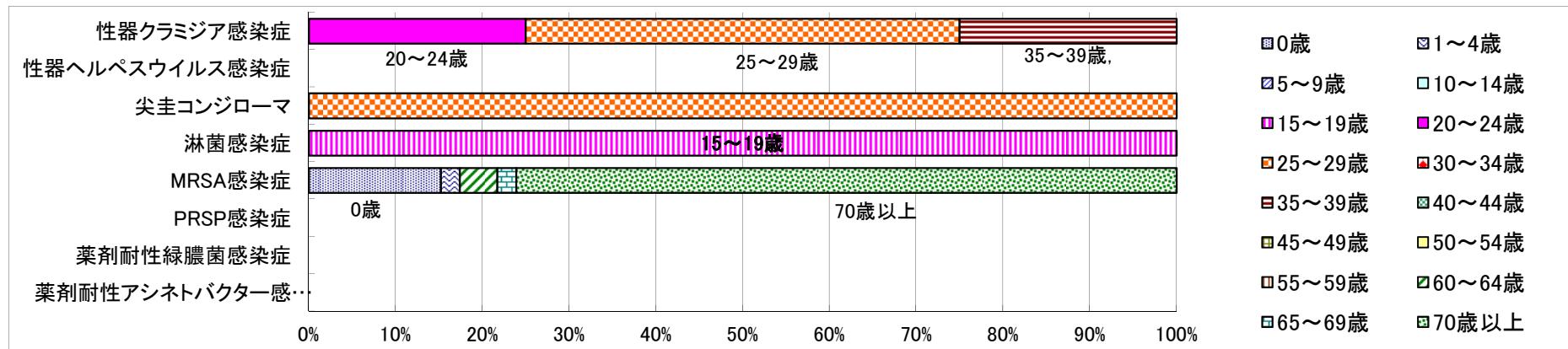
## 基幹定点における疾患別発生状況 (H24.12)



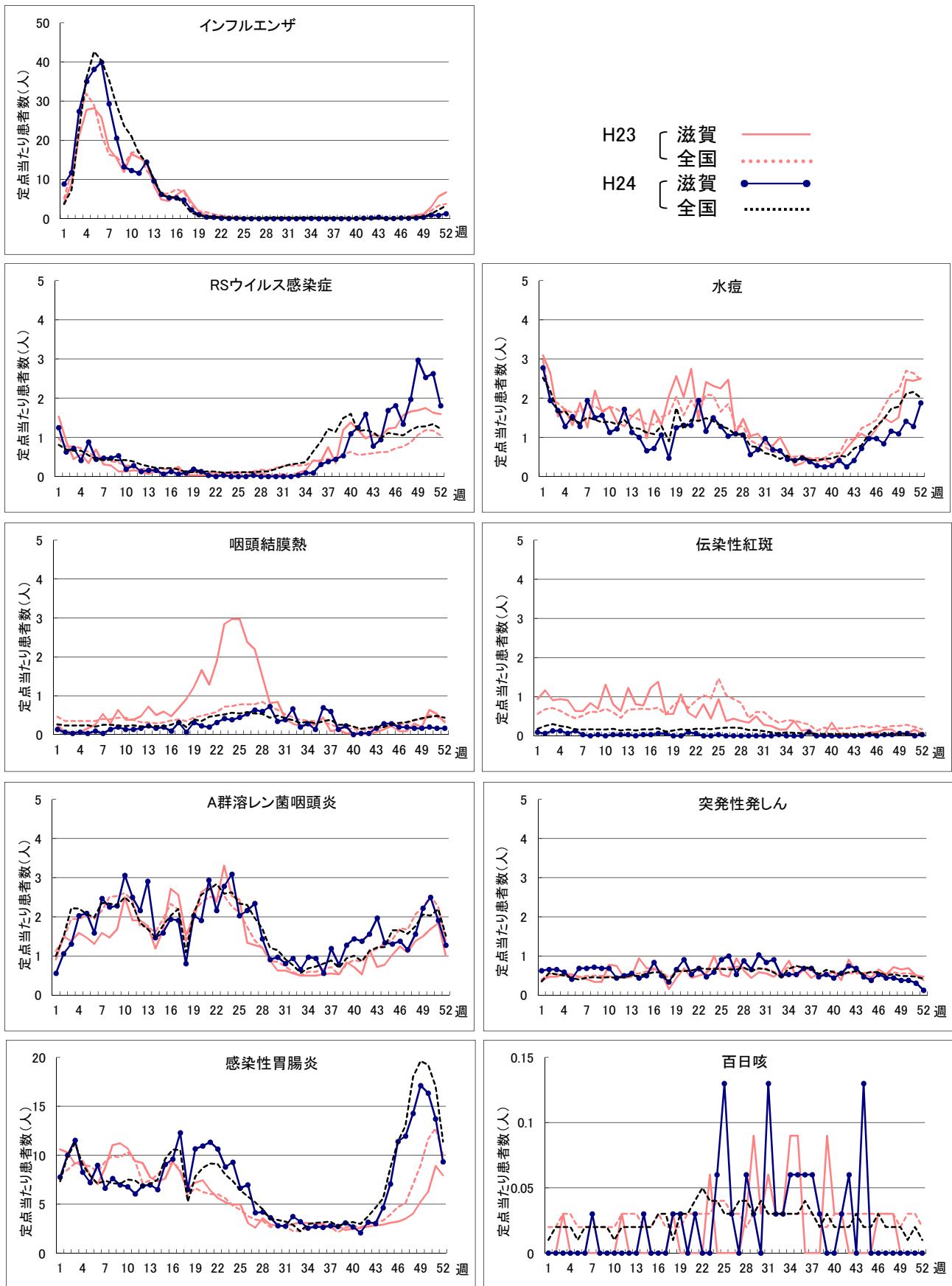
性感染症定点および基幹定点における各疾患の月別・性別発生状況は、左記グラフに示すとおりです。先月と比較すると、性器ヘルペスウイルス感染症およびMRSA感染症は男性、女性ともに減少していました。

また、各疾患の年齢別発生状況は、下記グラフのとおりです。

## 疾患別・年齢別発生状況 (H24.12)



## 疾病別定点当たり患者数(平成24年第52週、H24.1.2～H24.12.30)



**疾病別定点当たり患者数**  
(平成24年第52週、H24.1.2～H24.12.30)

H23 滋賀  
全国  
H24 滋賀  
全国

